



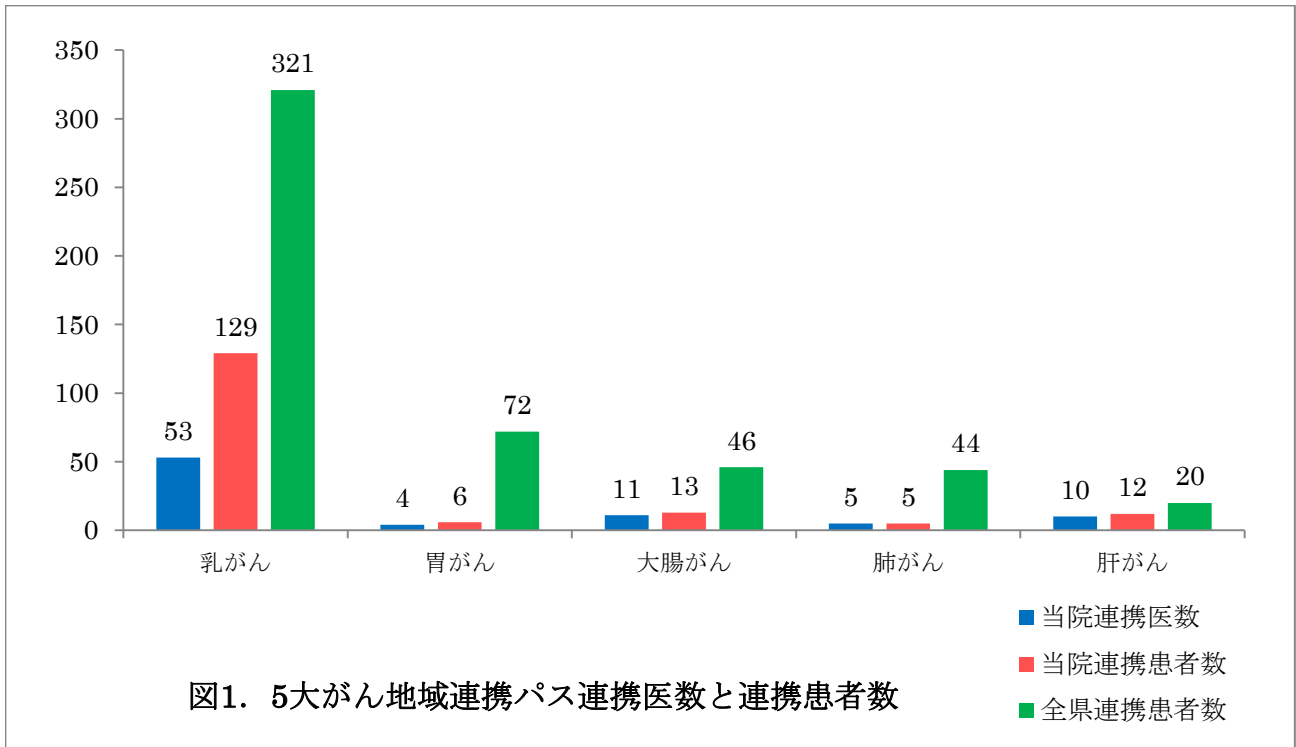
連携パスだより～がん地域連携パス編～ NO. 5



新緑の候、先生方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、がん地域連携クリティカルパス（以下連携パス）運用に格別のご高配を賜り、感謝申し上げます。

さて、今回は、「地域連携パスの運用経過」と「乳がん連携パス患者満足度調査結果の報告」「乳がん連携パス勉強会」「肝疾患連携パス」についてお知らせいたします。



H25年12月末現在

乳がん連携パス勉強会開催

去る1月23日 第3回「乳がん連携パス勉強会」を同じがん診療拠点病院の松江市立病院で開催しました。

内容は「乳がん化学療法」「遺伝性乳がん」「長期ホルモン療法」について講師を松江市立病院と当院の乳腺外科医師で行いました。

今までは参加者の8割は連携医の先生でしたが、今回は薬剤師・看護師・コメディカル中心に前回の2倍近くの65名参加がありました。たくさんのご参加ありがとうございました。なお今までの勉強会の資料等ご希望がありましたら送付いたしますので、私どもまでご連絡ください。



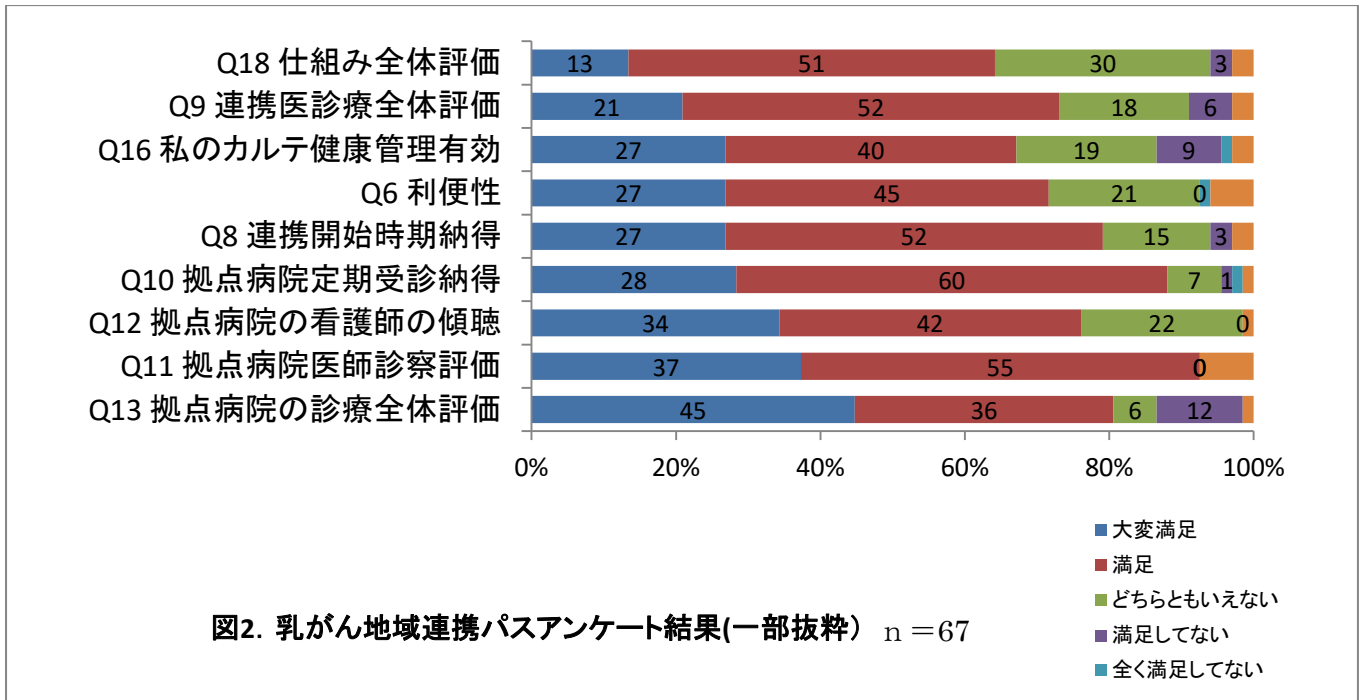
乳がん連携パス患者満足度調査

運用後4年を迎えた乳がん連携パス患者の満足度調査を、当院・市立病院の連携患者さんを対象として実施しました(回答数67名、回収率75%)。その結果を報告させていただきます(アンケート結果は下記の図2をご参照ください)。

「パスの仕組み全体」には、64%の満足の回答があり、一定の評価が得られたと考えます。この満足度に一番の影響があった項目は「連携医の診療への満足」で、連携医の先生方の診療のおかげと感謝申し上げます。

「利便性がよい」、「親身になってもらえる」、「安心感がある」という高評価が多くあった一方、「連携医の乳がんに対する診療の充実」を望む回答より、乳がんフォローについての要望が高いことが伺えました。また、「連携医の生活習慣病なども含めた健康管理」を望む回答も多くありました。

このことより、「定期的な勉強会の開催を継続」「生活習慣病対応をアウトカムに加えたパス(去年6月～運用開始)」を連携医療機関の先生をはじめスタッフの皆様とさらに推進していきたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

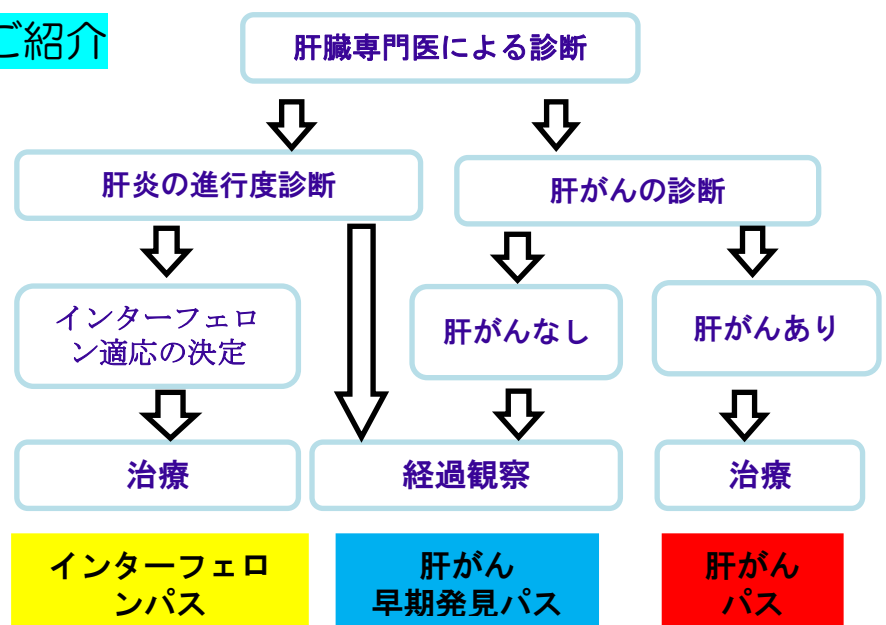


肝疾患連携3種のパスのご紹介

肝がんは再発のリスクが高いため、がんになる前に、専門医の診断と定期的な検査を、連携パスで行っていただけたらと思います。

今後も地域の病・医院の先生を初めスタッフの方々、患者様のご意見をいただきながら、より良いものに発展できますよう検討を重ねてまいります。

今後ともご指導賜りますようお願いいたします。



平成26年4月吉日

連絡先：松江赤十字病院 地域医療連携課

TEL：0852-32-7813 FAX：0852-27-9261